



2025～26 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
https://kanoya24-
ROTARY 第 2162 回



2026 年 5 月 17 日 (日) 地区研修・協議会 (地区ラーニングアセンブリー) 於：鹿児島サンロイヤルホテル

2026 年 3 月 09 日

◆ビジター紹介 (3/16)

[かのや東 RC] 飯隈章一郎さん、久留正嗣さん
森山耕生さん、井高知篤さん

◆会務報告

- 春の全国交通安全運動出発式への出席について (依頼)
日時：令和 8 年 4 月 6 日 (月) 午後 2 時～3 時
場所：イオンかのやショッピングセンター駐車場
- 地区補助金申請クラブの皆様へ
- 風の便り Vol. 11 No. 7
- お礼 (都城西 RC 創立 50 周年記念式典)
- 都城中央ロータリークラブ創立 40 周年記念式典並びに祝賀会のご案内
日時：2026 年 5 月 9 日 (土) 式典 16:00～
会場：霧島ファクトリーガーデン
- 台北国際大会 RI 理事主催親善朝食会受付終了
- ハイライトよねやま Vol.312
- 鹿児島地区 RYLA 開催のご案内
日時：2026 年 4 月 25 日 (土) 10:30～16:00
会場：霧島市国分総合福祉センター
- 地区チーム・ラーニングセミナー及び PELS (会長以外・ラーニングセミナー) 終了について
- 第 11 期 RLI-2730 パートⅢのご案内
日時：2026 年 4 月 19 日 (日) 9:15～16:00
場所：宮崎日本大学高等学校
- 第 61 回世界ゴルフ選手権開催について (2026 年 10 月 18 日～23 日 台湾・台北)
- 2026-27 年度 RI 人頭分担金/ロータリー財団への寄付について (情報ファイル)
- 国際ロータリー第 2730 地区 2026-27 年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー開催のご案内
日時：2026 年 5 月 17 日 (日) 本会議 10 時～
場所：鹿児島サンロイヤルホテル
- 令和 8～9 年度鹿屋市国際交流協会会長の立候補及び推薦について (依頼)
- RI 第 2750 地区 第 46 回地区ローターアクト年次大会開催のご案内
- 国際ロータリー第 2730 地区 2025-26 年度「クラブ活性化セミナー Part2」のご案内
日時：2026 年 5 月 30 日 (土) 10:00～15:40
場所：ホテル中山荘
- 2025-26 年度第 5 回奉仕プロジェクト部門 勉強会 (Zoom) のご案内
日時：2026 年 4 月 27 日 (月) 18:30～19:15
- 鹿屋市国際交流協会「第 2 回役員会」議事録及び特別講演会のお知らせ
日時：令和 8 年 4 月 13 日 (月) 17:30～19:00
会場：鹿屋市観光物産総合センター内休憩室
演題：混沌とするミャンマーと日本語教育
- 広報紙「せつとべ 152 号」について (送付)
- ジュニアフェア・ジョーンズ 2026-27 年度ロータリー財団管理委員長ご来日に関するご案内
東京開催 2026 年 8 月 21 日 (金) 14:00～
会場：ニッショーホール虎ノ門
神戸開催 2026 年 8 月 23 日 (日) 14:00～
会場：神戸ポートピアホテル
- 2025 年手続要覧 印刷出版のご案内
1 冊単価 1,000 円 (税込、配送費込)

次回プログラム		
3 月 30 日 (月)		
卓話者：ゲスト (平和の大使)		
担当委員会：国際奉仕		
3 分間スピーチ：—		
出席報告	会員数	(36) 39 名
	出席数	31 名
	出席率	86.11 %

メイクアップ情報		
鹿屋	03月25日	⇒28日(土)新緑さつき苑 18:30～合同観桜会
かのや東	03月26日	⇒28日(土)新緑さつき苑 18:30～合同観桜会
串良	03月23日	(木)セトロードの駅ローカル奉仕デー 詳細未定
志布志	03月24日	(火)天黒リゾートホテル 時間変更 12:30～
きもつき	03月25日	(水)高山温泉ドーム 第4週:例会無し
南九州大崎	03月26日	(木)観桜会 会員宅
志布志みなと	03月25日	(水)天黒リゾートホテル 時間変更 19:30～

<p>鹿屋西ロータリークラブ</p> <p>会長：久木田 弘 副会長：山崎 隆夫 幹事：西ノ原庄一</p> <p>例会日 月曜日 12:30～13:30 例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212 事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10 新緑さつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959 E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp</p>	
---	--

22. ガバナー月信 4月号 地区HP掲載のお知らせ
23. 会員増強およびロータリーPR用パンフレット
資料提供のお願い

24. 4月例会変更のお知らせ

〔鹿屋RC〕29日(水)祝日のため休会

〔串良RC〕3/30観桜会⇒4/6(月)へ変更

場所：おれのゴルフ 18：30～

30日(月)祝日週休会

〔南九州大崎RC〕9日(木)⇒5日(日)へ変更

ソフトボール大会の為

田中グラウンド 時間未定

16日(木)特別休会

30日(木)祝日週休会

〔志布志RC〕28日(火)⇒12日(日)海岸清掃

ロータリー奉仕デー 志布志みなとRC合同

ダグリ岬海岸 9：00～11：00

〔志布志みなとRC〕1日(水)観桜会 19：00～

大浜緑地公園(雨天時:居酒屋もみじ)

15日(水)⇒12日(日)ロータリー奉仕デー

海岸清掃 志布志RC合同

ダグリ岬海岸 9：00～11：00

22日(水)休会

29日(水)祝日 ポリオ募金活動

お釈迦祭り会場 9：00～13：00

約15億人、そして汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落とす5歳未満の子どもは、年間約27万3,000人とされています。これは、例えるならば、毎日700人以上の子どもたちが命を落としている計算になります。その多くは、本来であれば予防できた命です。水が安全でない地域では、子どもたちは学校へ行く前に何キロも歩いて水を汲みに行きます。その水は濁っていることもあり、動物と同じ水源を使うこともあります。水汲みは多くの場合、女性や少女の役目です。

そのため、教育の機会を失ってしまうこともあります。つまり、水の問題は単なる「飲み水」の問題ではありません。

健康・教育・女性の自立・地域経済・貧困の連鎖すべてに関わる、社会の根幹の問題なのです。

ロータリーはこの課題に対して、井戸を掘るだけではなく、地域住民への衛生教育、持続可能な水管理システムの構築、現地技術者の育成、学校へのトイレ整備、など、長期的視点で取り組んでいます。

単に「与える支援」ではなく、自立につながる支援を行っている点が大きな特徴です。ここで、少し想像してみてください。もし、私たちの地域で水道が突然止まったらどうでしょうか。朝の歯磨きもできない。トイレも使えない。病院も機能しない。飲食店も営業できない。水は、空気と同じように、失って初めてその大切さに気づく存在です。水は「命の源」です。しかし同時に、未来をつくる力でもあります。安全な水があることで、子どもが学校へ通える、病気が減る、働く時間が増える、地域が発展する、すなわち水は人生の可能性を広げる事になります。私たちロータリアンは、「四つのテスト」に照らして行動します。この水の問題に対しても、それは真実か。みんなに公平か。好意と友情を深めるか。みんなのためになるか。まさにその精神が試されている分野ではないでしょうか。

私たち鹿屋西ロータリークラブとしても、遠い国の出来事と捉えるのではなく、「自分に何ができるか」を考える月間にしたいと思います。そんな遠い国の事は無理だなんて考えないでください。小さな寄付スマイルも、小さな学びも、小さな意識の変化も、やがて誰かの命を守る力になります。最後に。蛇口をひねれば出てくる水に、感謝してみてください。水は命。そして、水は平和への第一歩でもあります。今月の水と衛生が私たちにとって「当たり前」を見つめ直す月間になりますことを願い、本日の会長の時間とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



会長の時間

会長 久木田 弘さん

皆さま、こんにちは。

今、日本中を元気づけている話題として、WBCでの侍ジャパンですね。見事に3連勝し、世界の舞台上で堂々と戦う姿に多くの人が勇気をもたらしているのではないのでしょうか。

今月はロータリーの7つの重点分野の一つ、水と衛生月間です。色々と調べてきたことのデータ等についてお話したいと思います。

国際ロータリーは、安全な水と衛生は「すべての人の基本的人権」と考え、世界各地で支援活動を続けています。日本では、水はあまりにも身近な存在です。蛇口をひねれば、そのまま飲める水が出てきます。コンビニでも自動販売機でも、清潔な飲み物は簡単に手に入ります。しかし世界に目を向けると、それは決して「当たり前」ではありません。

2023年の国際データによりますと、世界の人口は約80億人日本は1億2400万人で、安全な飲み水を利用できない人は世界で約27億300万人、適切なトイレなどの衛生設備を利用できない人は



3分間スピーチ

前田 均さん

本日は「運命を拓く心と人生の選択」についてお話しします。

まず、日本の思想家、中村天風は『運命を拓く』の中で、「**運命をつくるのは環境ではなく心である**」と説きました。

逆境にあっても心を積極的に保つことで、人生は好転する—という哲学です。

同じく、キングスレイ・ウォードの『ビジネスマンの父より息子への30通の手紙』も、息子への助言の中で、**挫折や困難を成長の糧にすること、他者との誠実な関係の大切さ、そして自分自身で考え決断する力の重要性**を説いています。

形式は違いますが、人生を豊かにする普遍的な心の在り方を伝えている点で共通していると思います。

そして、現代のスポーツ界でその精神を体現しているのが大谷翔平選手です。

大谷選手は、肘や肩の手術、二刀流という前例のない挑戦にもひるまず、できることに集中して成長する姿勢を示しています。

さらにチームメイトやファンへの感謝、謙虚で品格ある態度は、天風やウォードが説く「他者との関わりの大切さ」とも重なります。

そして、二刀流挑戦を自ら選び取った意思決定は、ウォードの手紙と天風の哲学が共通して強調する、**自分の心で人生を切り拓く力の実践**です。ここで、僭越ながら、ロータリークラブの理念と重ねてみました。ロータリーは「超我の奉仕」を掲げ、自分の利益を超えて周囲や社会のために行動することを大切にしています。また「四つのテスト」—真実か、公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるか—は、日々の心の選択を導く指針です。

天風やウォード、大谷選手に共通する「心を整え、他者を大切に作る姿勢」は、まさにロータリーの理念そのものです。

つまり、時代や形は違っても、天風の哲学、ウォードの手紙、大谷選手の精神は、逆境に向き合う心、他者との関係を大切に作る心、そして自分の意思で人生を選ぶ心—そしてそれを社会のために生かす心でつながっています。

最後に、卓話の締めとしてなぞかけを一つ。



運命を拓くこととかけまして、大谷選手のホームランと解きます。

その心は—

“芯”を外すと大空には飛びませんが、少しずれても笑顔は届きます。

人生も奉仕も、完璧でなくても大丈夫。

大切なのは、心の芯を意識して、周囲のために一振りすることです。今日という一日、私たちがロータリーの四つのテストを意識しながら、心の芯で一本、良いヒットを重ねて参りましょう。

ご清聴ありがとうございました。



会員卓話

北山 勉さん

本日は、ロータリー財団の担当例会となっております。ロータリー財団の基本的なこととして、歴史と寄付について、また、龍潭ロータリークラブと進めておりますグローバル補助金事業について説明をさせていただきます。(グローバル補助金事業については、マイロータリーから補助金センターにアクセスしてご確認ください)



ロータリー財団の歴史

1917年6月18日アトランタで行われた第8回ロータリー年次大会で、当時の会長であったアーチ・クランプが「世界で良いことをするために基金を作るのが、きわめて適切だと思われる」と演説したことが始まりです。

1917年は、まだ第一次世界大戦の真ただ中でした。そのような世界情勢の中で、アーチ・クランプは、未来のロータリーにとって、この基金が必ず必要になるという強い信念のもと、基金の設立を呼びかけました。

この基金への最初の寄付は、1917年にカンザスシティーロータリークラブが行った26ドル50セントでした。

このわずかな26ドル50セントが世界をよりよくするための何十億ドルという財団の布石を敷いたわけです。

その後、1928年に、それまでの「アーチ・クランプ基金」というなまえから「ロータリー財団」という名前に変更されました。正式な名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。

ロータリー財団への寄付について、主なものは次の通りです。

1. 年次基金とは

この年次寄付は、3年間利殖に回され、その運用益は一般管理費や運営費等に当てられます。このシステムを「シェア・システム」と呼びます。

皆様から頂いた貴重な寄付は、3年後に管理運営のため5%が差し引かれた残り95%をWF（国際財団活動資金）とDDF（地区財団活動資金）に50：50の割合でシェアされ、全額プロジェクトに使われます。

個人で1,000ドル以上の寄付者をポールハリス・フェローと言います。ご寄付頂いた金額は累積され、2,000ドルを超えるとマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなり、1,000ドル増える毎に認証が行われます。

*財団の友・年次基金に毎年100ドル以上寄付した方

2. 恒久基金とは

この恒久基金への寄付をして頂いた場合、頂いた寄付金は基金として積み上げ、その元金には手を付けずにその運用益のみを使用します。運用益は一般管理費等に使われる他、WFとDDFにも分配され地区で使うプロジェクトにも使用されます。

1,000ドル以上の寄付者をベネファクターと言います。

3. 使途指定寄付とは

ポリオ・プラス、平和フェロウシップへの寄付やグローバル補助金を利用したプロジェクトを行う際のクラブ又は個人からの拠出金が該当します。つまり、使い方を指定した寄付です。

*メジャードナー

寄付分類に関係なく寄付の累計が1万ドルに達した個人又は夫婦

*アーチ・クランフ・ソサイアティ

寄付分類に関係なく寄付の累計が25万ドルに達した個人又は夫婦

補助金について

クラブが地元や海外で様々な奉仕プロジェクトを実施するために、地区補助金やグローバル補助金を提供することで支援しています。また、補助金事業を奨励することによってロータリー財団の存在意義、ロータリー財団への寄付の重要性を喚起しています。

地区補助金とグローバル補助金のしくみ

①3年前の年次寄付の47.5%がDDF（地区財団活動資金）として、地区にその配分が任せられます。そのDDFの50%を上限として、DG（地区補助金）に使うことができます。（実際には恒久基金の運用益の一部も加算されます）ロータリー財団部門では、この金額内で、各クラブからの申請のあったプロジェクトに分配していきます。

②DDFより地区補助金分を差し引いた金額に、恒久基金の運用益の地区への配分額と前年度からの繰越金を足して、さらにそこからポリオ・プラスへの寄付と平和センターへの寄付を差し引いた金額がグローバル補助金の予算となります。

この金額を以下のプログラムに配分します。

・グローバル補助金

（7つの重点分野のプロジェクト）

戦争と紛争予防 / 紛争解決 疾病予防と治療
水と衛生 母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展 環境

・地区ロータリー財団奨学生

・VTT（職業研修チーム）

ポリオ・プラス

ポリオとは、急性灰白髄炎（脊髄性小児麻痺）のことです。感染者の便に排出されたポリオウィルスを食物とともに口から取り入れてしまうことで人から人へ感染してしまう病です。ポリオウィルスは、1・2・2の三つの型に分けられます。2・3はすでに絶滅していると考えられ、残るは1型のみです。

RIは、1979年から5ヶ年計画でフィリピンの子供600万人にポリオの予防接種を行い、初めてポリオの撲滅運動に携わりました。国連40周年にあたる1985年に、RIは1億2000万ドルを集めるという声明を出しポリオ・プログラムを設けました。2007年の規定審議会でポリオ撲滅を国際ロータリーの最優先目標とすることが承認されました。

野生型ポリオウィルスによる症例数は、2026年2月23日現在、下記の通りとなり、あともう少しの段階に入っています。

		2026年 1/1~2/23	2025年	2024年	2023年
常在国	パキスタン	0	31	74	6
	アフガニスタン	0	16	25	6

非常 在 国	モザンビーク	0	0	0	0
	世界合計	0	47	99	12

ポリオ・プラスとは、当初はポリオの他に、はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスしたプログラムのことを指していましたが、現在ではポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを言います。

ポリオ・プラスへの寄付は、基金としてプールし要請がある都度使用していきます。



◆スマイル報告

〈 4 件 〉

- 携帯の電源を切り忘れておりました。申し訳ありません。所用の為早退させていただきます。…………… 王谷
- 先週誕生日をいただきました。祝っていただけなのは、もうロータリーだけです。ありがとうございます。…………… 鶴丸
- 日本の水と衛生環境に感謝！世界の水と衛生環境改善推進へ……。又、前田均さん、素晴らしいお話ありがとうございました。…………… 久木田
- メモリアルデーありがとうございました。…………… 竹之内
- 本日のニコニコBOXスマイルは2,803円です。

本日計 12,000円 累計(一般) 271,100円
(財団) 82,354円 (米山) 105,032円

***** ありがとうございました *****



ロータリー財団への理解を深めるために

ジェニファーさんと大いに語ろう！



ジェニファー・ジョーンズロータリー財団管理委員長がこの夏、私たち日本のロータリー会員のために来日されます。2022-23年度にRI会長として日本にお迎えしてから2度目の来日となります。特別企画として、クラブの会長、幹事、ロータリー財団委員長の皆様にも直接お話をお聞きいただけるロータリー財団セミナーを開催いたします。ロータリー財団を知っていただく絶好のチャンスですので、お見逃しなく、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



氏名： 2025-29年度ロータリー財団管理委員長 藤野克彦

東京会場

2026年8月21日(金)
14:00～17:30 [受付13:30～]
【会場】ニッショーホール虎ノ門
東京都港区虎ノ門2-4-16 日本消防会館2階
TEL. 03-6263-9957(代表)
【登録料】6,000円

神戸会場

2026年8月23日(日)
14:00～17:30 [受付13:30～]
【会場】神戸ポートピアホテル
本館地下1階「信楽の間」
兵庫県神戸市中央区港島中町 6-10-1
TEL. 078-302-1111(代表)
【登録料】6,000円

詳細については、後日地区を通じてご案内いたします

ロータリーニュースより



井戸の設置を超えて広がるロータリーの水支援

ロータリークラブとローターアクトクラブは、サンドダムや雨水貯留施設、浄水システムの設置を通じて、人びとが安全な水を利用できるよう支援しています

安全な水と衛生設備を利用できるかどうかは、子どもが安心して教育を受けられる環境を左右する重要な要素です。ガーナのアシャンティ地方にあるローターアクトクラブのメンバーは、地元の学校をより良くする方法を考える中で、この現実に直面しました。メンバーが訪れた学校では深刻な水不足が続き、生徒たちは汚染された水に頼らざるを得ない状況でした。そのため、下痢や赤痢などの病気が広がっていました。さらに、近代的なトイレはなく、女子生徒が生理の際にプライバシーを守る場所もありませんでした。水の不足は、学習環境を含め、生徒たちの日常生活のあらゆる面に影響を与えていました。こうした水へのアクセスがもたらす幅広い影響は、国連が定める「世界水の日」(3月22日)でも強調されています。

今年1月、国連のチリツィ・マルワラ事務次長は次のように述べました。「水不足はコミュニティの弱体化を招き、難民問題や紛争の原因にもなりつつあります。水資源を公平に管理し、脆弱なコミュニティを守り、避けられない損失を公正に分ち合うことは、平和と安定、そして社会の結束を維持するうえで極めて重要です」現在、世界では20億人以上が安全な飲料水を十分に確保できていません。安全な水と衛生設備へのアクセスを広げることは、ロータリーが最も重視する課題の一つであり、七つの重点分野の一つにも位置づけられています。

ロータリー財団からの57,000米ドルのグローバル補助金を活用し、ガーナのクマシ・ローターアクトクラブとオブアシ・ローターアクトクラブは、アシャンティ地方にある八つの学校に安全な水と衛生設備を整備しました。プロジェクトでは約80基の節水型トイレと10基の小便器を設置したほか、女子生徒のための更衣室を設け、さらに2校では井戸を掘削しました。この取り組みにはガーナ国内のロータリークラブやローターアクトクラブに加え、トルコや米国のローターアクトクラブも協力しました。その結果、6,000人以上が恩恵を受けています。

このほか、メキシコ、ケニア、ドミニカ共和国で行われた最近のロータリープロジェクトでも、水へのアクセスを改善することで地域社会に大きな変化をもたらしています。

週報担当： 志村